

2025年3月4日 交通脱炭素シンポジウムⅢ

水素の利活用による交通分野の脱炭素化 ～地域から未来をつなぐ脱炭素への道～
閉会挨拶

運輸総合研究所・理事長の上原です。皆様お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり一言ご挨拶申し上げます。まずは、本日基調講演をしていただいた、

- ・ 国土交通省総合政策局環境政策課長の清水様、
- パネルディスカッションにご登壇いただいた、
- ・ 横浜国立大学総合学術高等研究院 上席特別教授の^{みやけ}三宅先生、
- ・ ジャパンハイドロ株式会社の青沼様
- ・ 東日本旅客鉄道株式会社 of 大道様
- ・ 一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会の田口様
- ・ そして福岡市の三浦様

長時間にわたりご参加いただいた多くの視聴者の皆様、そして日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に深く御礼申し上げます。

本日のシンポジウムでは、交通分野の水素の利活用に関する海外や国内での政策、水素サプライチェーンの構築、地方自治体におけるそれぞれの取組についての最新の動向等をご紹介いただきました。

本日の議論では、交通分野全体での水素需要の創出などモード間の連携、また、実現可能性が高いと考えられる地域での先行的な導入など共通の課題があることも見えてまいりました。このような課題を踏まえて、交通分野全体のヨコの連携が進むこと、さらには水素を利用する側と水素を供給する側のタテの連携が進むことに対して、少しでもお役に立てば幸いです。

また、当研究所では、本日報告させていただいた「我が国の交通分野の脱炭素化に向けた燃料転換及び水素の利用に関する調査研究」を進めるとともに、交通産業におけるグリーントランスフォーメーション(GX)実現への道筋に関する調査研究も進めてまいりました。来月21日には、この交通 GX に関する調査研究の研究成果を報告する交通脱炭素シンポジウム第4弾の開催を予定しております。こちらぜひご参加いただければと思います。

なお、本日のシンポジウムのアンケートへのご協力も、よろしくお願いいたします。本日は、最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。

以上